



前

所
在
三
時
此
名
區
分
事
由
心
所
十
時
極
度
確
証
決
定
理
由
本
館
守
衛
隊
者
地
道
留
品

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

死
狀

[Redacted]

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

死
者
地
道
留
品

2-11

死亡証明書

死亡氏名

死亡病名

死亡年月日

死亡場所

賜 紙 貼

昭和二十一年二月六日

滿洲安東市日本赤十字病院内

(享年三十歳)

右記ノ通リ相違ナクシトシテ証明ス

59-15

昭和十四年四月二十五日

57-16

死亡者（生死不明者）ニ関スル證明書

(者明不死生)者亡死				區分	
死亡年月日時	死亡場所	死亡區分	死亡狀況	本籍地	所屬部隊
昭和二十二年二月六日	滿洲省扶餘縣扶餘街	戦死	戦死	[REDACTED]	滿洲省第八軍部隊 軍属

昭和二十二年二月六日、満洲省扶餘縣扶餘街にて戦死。死亡状況は戦死。本籍地は不明。所属部隊は満洲省第八軍部隊。軍属。死亡年月日時は昭和二十二年二月六日。死亡場所は満洲省扶餘縣扶餘街。死亡區分は戦死。死亡狀況は戦死。

確
度

族氏名

死亡(生死不明)
当時ノ部隊ノ
状況

遺骨遺留品
ノ
状況

本人ノ
関係

右之通相違無之候也

昭和二十一年十二月五日

東洋
籍籍

所屬部隊

官氏名

村ノ敗退セリ所ノ部隊ノ遺骨遺留品等ハ未ダ見出スル所ナシ
係屬新ノ部隊ノ山崎ノ部隊ノ遺留品等ハ未ダ見出スル所ナシ
行動ノトウチニ不明ナル所アリ

死ニシテ遺骨遺留品ニシテハ未ダ見出スル所ナシ
係屬新ノ部隊ノ山崎ノ部隊ノ遺留品等ハ未ダ見出スル所ナシ

元同會社ニ勤務之朋友也

7-17

現認證明書

不備

[Redacted]

現

本籍と同じ

死亡時の状況

用軍航

本籍

昭和七年三月

死

身分

[Redacted]

父

病没入後

自死之通知

氏名

[Redacted]

[Redacted]

昭和七年三月

死亡日時

昭和七年三月八日

[Redacted]

同日

死亡場所

南河内市本町

[Redacted]

同日

死亡区分

病死

故

渡前火未病死迄の

死亡事由

慶子人年才入

[Redacted]

戦友

傷病名

慶子人年才入

[Redacted]

戦友

遺留品

遺留品

南河内市本町南河内第三部隊に
入隊し、戦友として勤務

石之香路和二十一年二月九日午一時

元七重寶通明書

不得地不明

湯新元元飛行場大像

(圓有也)

依集年臨初十七年

皇年號 与手兵
代在

石之香路和二十一年二月九日午一時

分杏林 一於子人 於保子或湯

亦无シタルトテ證明人 有田田田

昭和二十一年九月十日

大元元元元

職名及代名

註記

一 元七地地 地福都地 皇年號 与手兵

詳記

一 職名及代名 湯新元元飛行場大像

4-11

日 甲 庚 庚 意 (閱受) 者 申 興 錄 四 意 (閱受) (印)

(全本圖) 備 備 備 備

庚 日 庚 日 庚 日 庚 日 庚 日 庚 日 庚 日 庚 日

官 等 級 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長

兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長

兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長

兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長

兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長 兵 長

兵 長

兵 長

兵 長

兵 長

f-12

死亡現認(確認)證明書

◎ 裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

※ (調製月日) 昭和 年 月 日
 ※ (調製官署)

遺料提供者		死者の資料						死亡現認(確認)證明書	
遺品 及遺品の処理 及び遺品の処理	遺品 及遺品の処理	死亡原因 死亡原因	遺品 及遺品の処理	死亡場所 死亡場所	死亡日時 死亡日時	死亡原因 死亡原因	死亡現認(確認)證明書 死亡現認(確認)證明書	死亡現認(確認)證明書 死亡現認(確認)證明書	
									死亡原因 死亡原因
遺料提供者の氏名 遺料提供者の氏名		死者の氏名 死者の氏名						死亡現認(確認)證明書の氏名 死亡現認(確認)證明書の氏名	
遺料提供者の住所 遺料提供者の住所		死者の住所 死者の住所						死亡現認(確認)證明書の住所 死亡現認(確認)證明書の住所	
遺料提供者の職業 遺料提供者の職業		死者の職業 死者の職業						死亡現認(確認)證明書の職業 死亡現認(確認)證明書の職業	
遺料提供者の電話番号 遺料提供者の電話番号		死者の電話番号 死者の電話番号						死亡現認(確認)證明書の電話番号 死亡現認(確認)證明書の電話番号	
遺料提供者の印 遺料提供者の印		死者の印 死者の印						死亡現認(確認)證明書の印 死亡現認(確認)證明書の印	
遺料提供者の署名 遺料提供者の署名		死者の署名 死者の署名						死亡現認(確認)證明書の署名 死亡現認(確認)證明書の署名	
遺料提供者の捺印 遺料提供者の捺印		死者の捺印 死者の捺印						死亡現認(確認)證明書の捺印 死亡現認(確認)證明書の捺印	
遺料提供者の印 遺料提供者の印		死者の印 死者の印						死亡現認(確認)證明書の印 死亡現認(確認)證明書の印	
遺料提供者の署名 遺料提供者の署名		死者の署名 死者の署名						死亡現認(確認)證明書の署名 死亡現認(確認)證明書の署名	
遺料提供者の捺印 遺料提供者の捺印		死者の捺印 死者の捺印						死亡現認(確認)證明書の捺印 死亡現認(確認)證明書の捺印	

宮の原在郷人に依り収容
 された患者許に見舞に
 行く事を知す

南隊当行知了

百十五病院
 野戦病院

陸工伍

昭和二十一年二月十二日
 宮の原製鉄病院
 肺結核?

(死亡當時の状況)
 宮の原着后大過なく過せしと思はる、冬期間の寒さに病勢進行死亡せるものと思はる、細部不明小生、当行本溪湖製鉄所炭山に在り死亡當時の状況説明をす

東京都
 野
 歩
 一

死亡證明書

不籍地

前雇部隊

階級 (死亡前) 陸軍雇員氏名

(一) 死亡年月日

昭和二十一年二月二十五日頃

年

(二) 死亡場所

ルビン市道外、地不明

(三) 死亡原因

傷病名及び死亡前自ラ状況

本人は重傷に罹り、通じたため、二十一年一月頃、天満難民救済会より前記病人と相違なく、同会至宮の製パン工場二階に借受け、修理を業として生活して居たが、某日失調により、対気圧病を病人として、その上、完全にて修理を業として居たが、(製パン南井)の製パン機に依り、窒息死したものと推定される。

死亡を認め、理由(由) 本会自身同一部隊で、前記病人ハ、天満難民救済会より前記病人と相違なく、同会至宮の製パン工場二階に借受け、修理を業として生活して居たが、某日失調により、対気圧病を病人として、その上、完全にて修理を業として居たが、(製パン南井)の製パン機に依り、窒息死したものと推定される。

遺留品の状況

遺留品は、本人の所持品に、現金、手紙、写真、衣服、靴、履物、食料、飲料、日用品等あり、遺失品なし。遺留品の状況を調査し、本人の所持品に、現金、手紙、写真、衣服、靴、履物、食料、飲料、日用品等あり、遺失品なし。

右の通り相違ない事も證明する
昭和十五年十二月二十二日
現在前
終戦時前原部隊
局長
2/6-10

昭和十五年十二月二十二日

現在前

終戦時前原部隊

局長

事實證明書

本籍地

現住所 本籍地(同一)

所屬部隊 師第...七部隊

氣付

徵集年 昭和貳年

役種 補

兵種 步兵

官等級 一等兵 (應召當時其後不明)

氏名

生年月日

年 月 日生

留學經歷

住所

父

3314

22-11

一、證明書ハ別紙本人ノ印刷物ヲ寫シ
ルモノヲ付ス

(本書ハ遺族父 [redacted] 保存ス)

1917 独自五三天要書トシテ 獨立神ト云云

816 字未也考 818 菅山上陸 823 海濱著

1912 2 海濱著

1912 佳不新著

? 此支那遺甲一也 [redacted] 部隊

高小章

? 紅輝平塚陸軍航空廠 [redacted] 部隊

? 紅輝平塚師三也二也 [redacted] 部隊

22-12

眞

謹啓

時下疾暑の候御尊堂右位に於かせりては御壯健にて御暮し事奉
じま。突然此の様な手紙を差上げて失禮申上り次第ですが何卒
曉下さい

貴長

若は昭和二十一年三月二十八日 細菌性赤痢の爲元滿洲

感問島省延吉市陸軍病院に於て遂に死去致し先事を御先せ

當時現地は嚴寒三十度前後にて思ふ様に採暖用の燃料も無く又被

服は夏物を二三枚余分に着たる程度にして又米物も少なき食事は未

麥は少なき主に豆高梁おとし、工葉用のコメ等にして

其の量も少なき野菜物は一物もなき以てほとんど栄養素失

症となりし頃當地の水は細菌多数を含まれて居り其れ等の生

水飲用等に依り罹病せるものと想へ像致しませ

當時小生は軍よりの要疎等により或特別の責任を持たざ

て忠告者の世話を致して居り遂に私の努力の足りなさを為し死なせし事を重々御詫申上げ奉るに九死に一生を得て先日復命致し取急ぎ御報知申上げ奉る次第で御座居ます此の様な手紙を見て御敷の事と思ひますかお落す事なく次の道に邁進下さい此れは唯私個人として御知せ申上げた次第です先ずは此れにて

殿